

# 1年探究科学科 科学探訪

令和6年3月13日(水)～15日(金)、探究科学科1年生が科学探訪に行ってきました。  
平成30年度(平成31年3月)以来5年ぶりに、国立オリンピックセンターに宿泊しての  
実施となりました。

## 【1日目】

7時10分に新高岡駅に集合し、新幹線で上野駅へ。

各自、上野公園周辺の博物館や美術館を見学したあと、  
昼食を挟んで、東京大学弥生キャンパスへ移動。東京大学  
地震研究所で、本校OBである同所所長 古村孝志先生から、  
能登半島地震が起きたメカニズムや地震研究の現在に  
ついての講義を聴きました。

その後本校卒業生7人に、総合図書館や安田講堂、赤門  
など本郷キャンパスの中を案内してもらい、研究・学習環  
境を視察しました。



地震研究所古村先生の講義に傾聴



左から順に、安田講堂前、赤門前、総合図書館前

夕食後は、卒業生12名を招いて懇談会を行いました。

生徒6～7名に対して先輩1名という小グループで、大学での研究内容やサークル活動、  
高校時代の勉強法や志望校決定など様々なことについて質問をし、アドバイスをもらいま  
した。先輩方の熱のこもったお話に、引き込まれました。



(左) 参加してくれた卒業生 (右) 懇談会の様子

## 【2日目】

終日班別行動。外務省や文部科学省、国土交通省、厚生労働省、農林水産省、環境省、気象庁、警視庁といった官公庁、日本銀行や東京証券取引所などの公的機関、日本科学未来館や国立近代美術館、東京都美術館などの美術館・博物館、東京大学医科学研究所や民間企業の研究所、出版社などを、班の目的に従って訪問し、研修を行いました。

国土交通省を訪れた班は、本校OBの堂故副大臣と面会し、仕事のやりがいなどをお聞きしました（その様子が、北日本新聞令和6年3月15日朝刊に掲載されています）。



東大医科学研究所で実験装置の説明を受けている様子

宿舎に戻って夕食をとった後、各班、写真データを取り込んだり発表原稿を考えたりして、発表の準備を行いました。

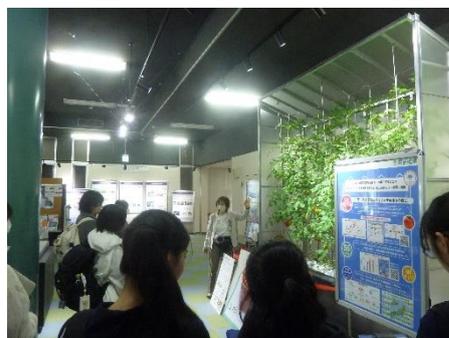
その後、クラス別に、班別行動の報告会を行いました。各班の発表に対し、クラスメートからも多くの質問が出され、さらに研修を深めることができました。



クラス別の報告会の様子  
左：15H  
右：16H

## 【3日目】

8時過ぎに宿泊地を出発し、バスでつくば研究学園都市へ。午前中は、1班は、サイエンス・スクエアつくばと地質標本館で、2班は、食と農の科学館と筑波実験植物園で、研修を行いました。



(右) 1班：地質標本館見学の様子 (左) 2班：食と農の科学館見学の様子

午後は、全員、宇宙航空研究開発機構（JAXA）筑波宇宙センターの見学ツアーに参加しました。宇宙飛行士の訓練の様子やJAXAの役割などを説明してもらいました。

「本物」に触れることができた貴重な機会でした。

その後、大宮駅から新幹線に乗り 19 時 28 分新高岡駅に到着し、3 日間の行程を無事終了しました。



JAXA で説明を受ける様子

## 《 生徒の感想 》

- ・科学探訪では、実際に現地に行って、いろいろなことを見て聞いて、時には実物に触れてみて、ネットの情報だけにとどまらない多くの体験ができた。学校の勉強に直接活かすかどうかは分からないが、一人の人間として少しは成長できたのではないかと思う。
- ・私は、先輩や先生、初対面の人と自分から話題を振って話すことが苦手だ。しかし限られた人とだけ話していたら、結局は自分自身も成長させられない。これからは、自分の知識を増やして、色々な人に自分から話しかけていけるようになりたい。
- ・この3日間を通して学んだことは、どんな場所でも学ぼうとする姿勢が大切だということだ。今回、美術館や大学、官公庁などに赴いたが、どの場所でも、ここで何かを持ち帰るんだと意識しながら見学したことで、より自分の力になったと思う。
- ・この科学探訪で、社会についての知識が増え、将来についてさらに悩むようになったが、将来についての選択肢が増えた気もする。今後、どんな職業に就きたいと思っても大丈夫のように、毎日コツコツと勉強などを頑張っていきたい。
- ・大学生や社会人でも「興味を広げる」ということに重点をおいていた。世の役に立つ人間になるために、どの歳になっても物事を追求していく探究心を絶やさず生きたいと感じた。
- ・私にはまだ他人に自信をもって言える将来のプランはない。それは、将来やりたいことがぼんやりとあっても、どうしてそれをやりたいのかが分かっていないからだ気づくことが出来た。日常の中で、その「どうして」を探していきたいと思います。
- ・実際に大学で研究を頑張っている学生や働いている人の話を聞いて、将来をよりよくするためには、今どれだけ全力で頑張れるかだと実感できた。自分の好きなことを仕事にできるように私も、今、頑張りたい。
- ・計画的に学習をつづけ目標を達成された先輩方のお話は、論理的に組み立てられており、説得力があった。言葉に力を持たせるためにも、頑張っていきたい。
- ・日本の首都である東京の発展具合に圧倒された。自分の将来についてのビジョンがしっかり立ったわけではないが、少なくとも参考になることはたくさんあった。これからの学習や進路に生かしていきたい。